

国書刊行会 SF

# 未来の文学

2004 - 2021

国書刊行会

## 〈未来の文学〉完結に寄す

### 伴名 練

かつて私たちは〈未来〉を畏れた——その言葉が纏う魔術的な光は、時に眩しく、時に危うく煌めいていた。私たちが遙かな夢想到誘い、底深い迷宮に惑わせた。しかし時の流れは否応なしに虚飾の衣を剥ぎ取って、魔法の彩光はすっかり色褪せた。それは使い古されて黴の生えた単語、陳腐さの代名詞に過ぎなくなった。

けれども、長い雌伏の果てに、幸運にも私たちの世界は『未来の文学』を手に入れた。高らかに未来を謳い、文学の旗を掲げる叢書を。そこに並んだ、書かれて幾星霜を経た物語、半世紀以上を渡ってきた年代物にさえも、私はあの失われた煌めきを見いだした。

そこには、驚倒すべき奇想の沃野が横たわっていた。『宇宙舟歌』の奔放が、『ゴーレム』の暴走が、「見よ、かの巨鳥を！」の蛮勇があった。

そこには、荘厳さすら覚える幻想の峻峰が聳えていた。「ブリティ・マギー・マネーアイズ」の狂熱が、「月の蛾」の鮮烈が、「青ざめた遣還」の抒情があった。

そこには、SFと文学の潮流が綾なす海原が広がっていた。「雪」の喪失が、「降りる」の悪意が、「エンパイア・スター」の豊穡があった。

精緻にして堅牢な「デス博士の島その他の物語」で始まり、世界へと開かれた「眼閃の奇蹟」で終わるあの一冊のように、奇跡を孕む書物のページをめくるとき、遙か後の世代——私の百年後の読者もやはり、鮮やかな幻視を前にして目を眇め、忘れたい畏れを抱くだろう。

今ここに集められた二十冊、過去の叡智と想像力の結晶は、永遠に若い輝きを宿しながら、未来の座標に在り続ける。

《新しい太陽の書》の名匠ジーン・ウルフによる伝説的最高傑作がついに登場！ 三つの中篇が複雑に交錯して織り成す謎と真実のタペストリー——魔術的技巧で綴られた壮麗なゴシックミステリーSF。

Gene Wolfe / The Fifth Head of Cerberus

## ケルベロス第五の首

ジーン・ウルフ 柳下毅一郎訳

地球より彼方に浮かぶ双子惑星サント・クロアとサント・アンヌ。かつて住んでいた原住種族は植民した人類によって絶滅したと言えられている。しかし異端の説では、何にでも姿を変える能力をもつ彼らは、逆に人類を皆殺しにして人間の形をして人間として生き続けているという……「名士の館に生まれた少年の回想」「人類学者が採集した惑星の民話」「尋問を受け続ける囚人の記録」という三つの中篇が複雑に交錯し、やがて形作られる一つの大きな物語へと立ちのぼる魔法の瞬間。〈もっとも重要なSF作家〉ウルフの最高傑作！

2640円 (2004.7.20) 04566-9



人工言語を研究する英国人と、トランス状態で生まれる未知の言語を持つ部族を調査する民族学者、そして地球人の言語構造を求める異星人。言語と世界認識の変革を力強く描くワトソンの処女作。

Ian Watson / The Embedding

## エンベディング

イアン・ワトソン 山形浩生訳



埋め込み（エンベディング）製造を応用しての人工普遍言語の研究をしている言語学者クリス・ソールは、地球人の言語構造を求めて突如やってきた異星人とのコンタクトという使命に臨む。一方、ソールの旧友ビエールはアマゾンの奥地でドラッグによるトランス状態で生まれる未知の言語を持つ部族とともに新しい〈世界〉を体験していた——多重な語りと視点で同時進行する複数の物語がやがて迎える目眩くクライマックス……ウォーフ＝サブリア/チョムスキーの言語学やレーモン・ルーセルの奇書『新アフリカの印象』等を用いた溢れ出るアイデアと野心的なヴィジョンを駆使して、イギリス SF 界を騒然とさせたワトソンの“熱い”デビュー作。 2640円 (2004.10.25) 04567-6

最高に知的で、最高に意地悪な作家、トマス・M・ディッシュ。洗練された奇想と黒い笑いに満ちた短篇群を初めて集成！ 日本オリジナル編集でおくる厳選した〈奇妙な味〉のフルコース全13品。

Thomas M.Disch / The Asian Shore

## アジアの岸辺

トマス・M・ディッシュ

若島正編訳 / 浅倉久志・伊藤典夫・大久保寛・林雅代・渡辺佐智江訳

女がノックし続ける間、彼はヨーロッパとアジアの岸辺のはざまの黒い水面を行き来する連絡船を見つめていた……異国の地イスタンブールでの一人の男の彷徨を緊張感漂う筆致で緻密に描き、異様な完成度を誇る表題作をはじめ、本を読んで金儲けする方法を説く爆笑作「本を読んだ男」、想像上の恋人の子供を身ごもった女の物語「リンダとダニエルとスパイク」、少女が〈快樂島〉で体験する災難を情け容赦なく描く「犯人の惑星」、そしてニュー・ウェーブSFを代表する名作「リスの檻」まで——特異な知的洞察力で常に人間の暗部をえぐりだす稀代のストーリーテラー：ディッシュ、本邦初訳8篇を含む、初の短篇集にしてベストコレクション。

2750 円 (2004.12.15) 04569-0



ある日突然、男は住む人間すべてが両性具有の世界にトランスポートされる……独自のテーマとリリズム溢れる文章で異色の世界を築いたスタージョンによる幻のジェンダー／ユートピアSF。

Theodore Sturgeon / Venus plus X

## ヴィーナス・プラス X

シオドア・スタージョン 大久保謙訳



チャーリー・ジョンズが目覚めたのは、謎の世界レダム。銀色の空に覆われ、荒唐無稽な建物がそびえ立ち、奇天烈な服を着た（男でもなく女でもない）住人が闊歩する世界だった。故郷に戻りたがるチャーリーに、レダム人たちが持ち出した交換条件は「あなたの目で私たちの文明を評価して下さい」。彼は承諾した。自分の本当の運命も知らずに——異空間での冒険とアメリカの平凡な家庭生活の情景を絶妙に交錯させながら、スタージョンの思考実験が炸裂する！ ジェンダーの枠組みをラディカルに問い直した幻の長篇SFがついに登場。

2420 円 (2005.4.25) 04568-3

〈史上最高のSF作家〉にして偉大なるほら話の語り手、R・A・ラファティ待望の長篇作は、異星をめぐる怪奇な冒険をくりひろげる底抜けに楽しい宇宙版『オデュッセイア』！

R.A.Lafferty / Space Chantey

## 宇宙舟歌

R・A・ラファティ 柳下毅一郎訳

かのホメロス『オデュッセイア』の舞台を宇宙におきかえ、われらがロードストラム船長とその乗組員たちが繰り広げる大冒険を綴ったラファティ版英雄叙事詩。一行が向かうのは、快楽を貪る世界、巨人たちが毎日死ぬまで戦う世界、時間が異様に速く過ぎる世界、そしてとげい世界。世界のすべてを支える男の替わりを務めたり、はたまた動物に変身させられたり。危機また危機！ 故郷ビッゲ・タルサにたどりつくのはいつの日か……奇想天外なアイデアの連続、どす黒いユーモアと幻想的ロマンティズムに彩られた奇妙奇天烈な豊饒世界、痛快無比のラファティ・ワールドへようこそ。 2310 円 (2005.10.25) 04570-6



〈言葉の魔術師〉ジーン・ウルフ、本邦初の中短篇集が登場。精緻を極めた超絶技巧の語りと華麗なる文体、そして綺想とエモーションに満ちた物語——読書の快楽とSFの愉楽へといぎなう全5篇＋α。

Gene Wolfe / The Island of Doctor Death and Other Stories and Other Stories

## デス博士の島その他の物語

ジーン・ウルフ 浅倉久志・伊藤典夫・柳下毅一郎訳



〈だけど、また本を最初から読みはじめれば、みんな帰ってくるんだよ……きみだってそうなんだ〉孤独な少年の元に物語の登場人物が訪れる——ウルフの代表作にして不朽の名作「デス博士の島その他の物語」、治療を目的とした島における少年たちの非情な運命を詩情豊かに描き出すネビュラ賞・ローカス賞受賞作「アイランド博士の死」、冷凍睡眠から目覚めた男を待ち受けていたものは……不死のテーマをサスペンスフルに展開する「死の島の博士」、文明崩壊後のアメリカでの謎と幻惑に満ちた彷徨を流麗な筆致で綴る「アメリカの七夜」、目の見えない少年が繰り広げる夢と奇蹟と冒険の物語「眼目の奇蹟」、そして限定本に付された著者による「まがえき」を特別収録。〈もっとも重要なSF作家〉ウルフの傑作中短篇を集成。

2640 円 (2006.2.10) 04736-6

アンソロジーはSFの華。SFに革命をもたらした〈ニュー・ウェーブSF〉の知られざる傑作を若島正が厳選！ デイレイニーの幻の初期中篇からベイリーの異色作、エリスンの最高傑作まで全5篇+1。

Samuel R. Delany and Others / The Ballad of Beta-2

## ベータ2のバラッド

サミュエル・R・ディレイニー他

若島正編訳 / 浅倉久志・板倉巖一郎・伊藤典夫・小野田和子訳

失われた星間船〈ベータ2〉に伝わる歌には数奇な運命が隠されていた……天才ディレイニーの瑞々しい初期中篇「ベータ2のバラッド」、奇想とW・パロウズがミックスされたベイリーのNWの異色作「四色問題」、第二次大戦後ドイツが勝利した世界で静かなササミンスが展開するロバーツ「降誕祭前夜」、ラスベガスを舞台に男女のざらざらした欲望を熱気溢れる文体でえぐりとったエリスンの最高傑作「プリティ・マギー・マネーアイズ」、ウェルズにオマージュを捧げたスタイリッシュな佳作、カウパー「ハートフォード手稿」。さらに『タイム・マシン』の原型になったウェルズの中篇「時の探検家たち」を特別収録。本邦初訳4篇を含む全5篇+1！ 2640円 (2006.5.30) 04739-7



SF史上燦然と輝く傑作『虎よ、虎よ！』の巨匠ベスター、最強にして最狂の伝説的長篇。軽妙な語り口と発狂したタイポグラフィ遊戯の洪水が渾然一体となったベスターズ・ベスト！

Alfred Bester / Golem<sup>100</sup>

## ゴーレム<sup>100</sup>

アルフレッド・ベスター 渡辺佐智江訳

22世紀のある巨大都市で、突如理解不能の残酷な連続殺人事件が発生した。犯人は、ゴーレム<sup>100</sup>、8人の上品な蜜蜂レディたちが退屈まぎれに執り行った儀式で召喚した謎の悪魔である。事件の鍵を握るのは才気あふれる有能な科学者ブレイス・シマ、事件を追うのは美貌の黒人で精神工学者グレッチェン・ナン、そして敏腕警察官インドゥニ。ゴーレム<sup>100</sup>をめぐる、3人は集合的無意識の核とそのまた向こうを抜け、目眩く激越なる現実世界とサブリミナルな世界に突入、自らの魂と人類の生存をかけて闘いを挑む。しかしゴーレム<sup>100</sup>は進化しつづける……巨匠ベスターの最強にして最狂の幻の長篇にして、ありとあらゆる言語とグラフィックを駆使して狂気の世界を構築する超問作。解説：山形浩生 2750円 (2007.6.25) 04737-3



奇想・ユーモアSFを溺愛する浅倉久志が選んだSFベスト・オブ・ベスト。幻のナンセンスSF「見よ、かの巨鳥を！」他、スラデック、カットナー、テン、スタントンの抱腹絶倒作が勢揃い！

Harvey Jacobs and Others / The Egg of the Glak

## グラックの卵

H・ジェイコブズ他 浅倉久志編訳

太陽系のかたから巨大な鳥が地球へと飛んできた——幻のナンセンスSFがいに邦訳、ポンド「見よ、かの巨鳥を！」、酔いどれ天才科学者が発明した機械の正体をめぐる大騒動！ カットナー「ギヤラハー・プラス」、超能力集団の悩みとは……コグスウェルの皮肉な小品「スーパーマンはつらい」、ヘボ絵描きの思いがけない運命を描くテンの代表作「モーニエル・マサウェイの発見」、愛すべきファンタジー佳品、スタントン「ガムドロップ・キング」、調子のオかしロボットを書かせたら天下一品なグレート「ただいま追跡中」、異端児スラデックの代表作「マスターズと社員たち」、ノヴォトニのアルコール礼賛小説「バーボン湖」、そして浅倉セレクション秘蔵のヒップなおフビート・コメディ、ジェイコブズ「グラックの卵」。本邦初訳5篇を含む、粹でお洒落な全9篇。 2640円 (2006.8.26) 04738-0



『奇術師』『双生児』でジャンルを超えて大絶賛を浴びたブリスト、本邦初のベスト短篇集。珠玉の名品「限りなき夏」「青ざめた道遣」の他、美とエロスと幻惑と恐怖に彩られた物語を集成。

Christopher Priest / An Infinite Summer

## 限りなき夏

クリストファー・ブリスト 古沢嘉通編訳

ふたりの若い恋人たちが囚われの身になった夏の日は、長く伸ばされた一瞬となった——過去と未来を彷徨する人間たちの愛と焦燥をロマンティックかつ技巧的に繰る2篇のマスターピース「限りなき夏」「青ざめた道遣」、狂騒にみちた終末のビジョンを描くデビュー作「逃走」、混乱するアイデンティティをめぐる初期の代表作「リアルタイム・ワールド」、そして数千年にわたって戦争状態がつづく世界（夢群島（ドリーム・アーケペラゴ）を舞台にした物語4篇（「赤道の時」「火葬」「奇跡の石塚」「ティスチャーージ」）。〈物語の魔術師〉ブリストの洗練された流麗な語り口が堪能できる全8篇+書き下ろし序文を収録。 2640円 (2008.5.15) 04740-3



少年は歌によって飛翔するためにあらゆる試練をのりこえて歌手を目指す……鬼才ディッシュの半自伝的長篇にして伝説的名作がついに復活。サンリオSF文庫版を全面改訳した決定版！

Thomas M. Disch / On Wings Of Song

## 歌の翼に

トマス・M・ディッシュ 友枝康子訳

歌をうたうことによって肉体から精神を解き放つこと、それが〈飛翔〉である。宗教と経済に支配され食料危機が慢性化した近未来アメリカにおいて禁止されている〈飛翔〉の魅力にとりつかれた少年ダニエルは、ある日突然アイオワ有力者の策略により刑務所へ、そこから彼の数奇な流転の人生がはじまる。恥辱と快楽にまみれた生活をおくりながら歌手を目指し、ついに成功を手に入れたのだが……SFのみならずゲイ小説、教養小説、音楽小説などのあらゆる要素を投入しながら、支配する者とされる者の宿命、芸術の喜びと悲愴をエモーショナルに描く、鬼才ディッシュの半自伝的長篇にして最高傑作がついに復活。解説：若島正 2640円 (2009.9.25) 05116-5



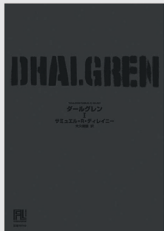
〈20世紀SFの金字塔〉〈SF界の『重刊の虹』〉〈ジャンルを超えたマジックリアリズムの傑作〉と称されながらも、今まで謎に包まれていた伝説の超大作が35年の時を経て、ついに登場！

Samuel R. Delany / Dhalgren

## ダールグレン I・II

サミュエル・R・ディレイニー 大久保譲訳

都市ベローナに何が起きたのか——多くの人々が逃げ出し、廃墟となった世界を跋扈する異形の集団。二つの月。永遠に続く夜と霧。毎日ランダムに変化する新聞の日付。そこに現れた青年は、自分の名前も街を訪れた目的も思い出せない。やがて“キッド”とよばれる彼は男女を問わず愛を交わし、詩を書きながら、迷宮都市を彷徨い続ける……奔放なイマジネーションが織りなす架空の都市空間を舞台に、性と暴力の魅惑を鮮烈に躍り上げ、人種・ジェンダーのカテゴリーを侵犯していく強靱なフィクションの力。過剰にして凶暴な文体、緻密にして錯乱した構成、ジョイスに比すべき大胆な言語実験を駆使した、天才ディレイニーの代表作にしてアメリカSF最大の問題作。序文：ウィリアム・ギブスン 解説：巽孝之 3520円/3740円 (2011.6.20) 04741-0 / 04742-7



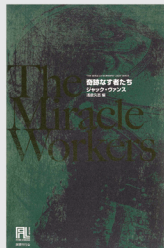
独特のユーモアで彩られた異郷描写で熱狂的なファンを持ち、ダン・シモンズやジョージ・R・R・マーティンらに多大な影響を与えてきた名匠ヴァンスの傑作中短篇を集めた本邦初のベスト集成。

Jack Vance / The Miracle Workers

## 奇跡なす者たち

ジャック・ヴァンス 浅倉久志編訳・酒井昭伸訳

〈ジャック・ヴァンスはぼくの大好きな作家だ。『異質の文化を色彩ゆたかに描きだす稀有な才能』と絶賛される側面はもちろん、「アメリカSF界屈指のタリスト」であるのも大きな魅力。突き放したようなドライ・ユーモアと、摩訶不思議な造語の氾濫する文体が、泣きたくなるほどすばらしい（事実、翻訳という作業ではいつも泣かされてきた。〉（浅倉久志）『竜を駆る種族』と並び称され、異星を舞台に壮絶な異法台戦を繰り広げる表題作から、幻想味あふれる小品「音」「ミトル」、音楽言語に基づく異世界描写が精妙かつユーモラスに綴られる代表作「月の蛾」、そして地球人と異星生物の戦いを壮大到緻密に描くヒューゴー、ネビュラ両賞受賞作『最後の城』まで……複雑玄妙、絢爛豪華、問答無用のヴァンス傑作選、全8篇収録。 2750円 (2011.9.15) 05319-0



さえない新聞記者が会出现奇妙な陰謀の数々……狂気とは何か？人はいかにして神になるのか？『地球礁』『宇宙舟歌』に並ぶ初期傑作長篇にして最高傑作、世界に牙刺く衝撃のラファティ文学！

R.A. Lafferty / Four Mansions

## 第四の館

R・A・ラファティ 柳下毅一郎訳



とつてもいい目をしているが、おつむが足りない若い新聞記者フレッド・フォーリー。彼はテレパシーでつながって人間を越えた存在になろうとする七人組の〈収穫者〉にそのかされ、さる世界の大物が500年前に実在した政治家と同一人物ではないかと思いつく。調べるうちに、フォーリーはいくつもの超自然的友愛会が世界に陰謀をめぐらしていることを知り、熾烈な争いの中に巻きこまれていく……世界最高のSF作家、ラファティによる初期傑作長篇がついに登場。善と悪、現実と幻想、正気と狂気が入り乱れ、奇天烈な登場人物が大暴れする唯一無二のラファティ・ワールド！ 2530円 (2013.4.25) 05322-0

瑞々しいボーイ・ミーツ・ガールものから、異色の怪異譚、詩情あふれるSF作品まで——現代アメリカ文学を代表するファンタジスト、クロウリーの華麗な語りと静謐な物語世界が詰まった傑作選。

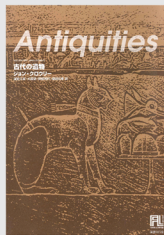
John Crowley / Antiquities

## 古代の遺物

ジョン・クロウリー 浅倉久志・大森望・柳樹和代・柴田元幸訳

あの夏、アメリカの田舎町で開催された〈シェイクスピア・フェスティバル〉でぼくたちは出会った。円形劇場と図書館で彼女と過ごした永遠の夏の日々、そこに思いがけない事態が訪れる……ノスタルジックな珠玉中篇「シェイクスピアのヒロインたちの少女時代」のほか、ヴィクトリア朝旅行記のパロディの表題作、詩情あふれるSFの傑作「雪」、怪鳥と男の奇妙な道行きを描くファンタジー「異族婚」、パイロン卿と牧神パンの哀切に満ちた出会いを綴る「メソロンギ1824年」など、本邦初訳7篇を含む全12篇（日本オリジナル編集）。『エリクソン・サマー』『リトル、ビッグ』のジョン・クロウリーによる華麗な語りが堪能できる傑作選！

2420 円 (2014.4.25) 05321-3



神話的SF作家ディレイニーの決定版中短篇集。永遠のオールタイム・ベスト「エンパイア・スター」を新訳で収録、華麗なる文体で彫刻された詩と思索と愛と暴力の結晶体。

Samuel R. Delany / Driftglass

## ドリフトグラス

サミュエル・R・ディレイニー

浅倉久志・伊藤典夫・小野田和子・酒井昭伸・深町眞理子訳



コメント・ジョーはメッセージを届けるためオカリナと仔悪魔猫と共にエンパイア・スターへと旅立つ……痛快なスペース・オペラにして実験的ビルドゥングスロマン、物語の面白さを凝縮した超絶技巧が炸裂するディレイニーの最高傑作「エンパイア・スター」が鮮烈な新訳版でついに登場！さらに、海に八つ裂きにされた男たちを哀切に描く表題作の他、ヒューゴー賞ネブュラ賞に輝くサイバー・ハードボイルド「時は準宝石の螺旋のように」、洗練を極めたテクニカラー・ファンタジー「ブリズマティカ」等、華麗なる文体と変幻自在のイメージ、哲学的思索と愛と暴力とエモーションに満ちた天才ディレイニーの決定版短篇コレクション、全17篇（新訳5篇・本邦初訳2篇）。解説：高橋良平 3960 円 (2014.12.25) 05324-4

リンカーン誕生日から大みそかまで、アメリカの祝祭日にちなんだ作品で構成された予測不可能な物語が詰まった驚異のコレクション！ 巨匠ウルフによる第2短篇集。

Gene Wolfe / Gene Wolfe's Book of Days

## ジーン・ウルフの記念日の本

ジーン・ウルフ 酒井昭伸・宮脇孝雄・柳下毅一郎訳

〈収録作品はいわゆるSFだが、多くはそう思ってもらえないタイプのSFで、明らかに地球外を舞台にしているのは「ラ・ベファーナ」と「住処多し」だけ。何篇かはユーモアものであるとはいえ、私のユーモアのセンスは屈強な男を失神させ、女性に凶器を取らせような代物である……〉（まえばきより）出来損ないの世界でのビジネスマンの凝縮された一生を描く不条理中篇「フォーレセン」、ピーター・パン由来の死のイメージがちりばめられた不気味な一作「取り替え子」、車が〇〇する話「カー・シニスター」、クリスマス・イヴの新旧おもちゃの攻防戦「ツリー会戦」など、〈言葉の魔術師〉ウルフが華麗な文体と技巧を駆使しておくる、知的仕掛けに満ちた初期短篇 18 篇収録。ローカス賞最優秀短篇集受賞。 2640 円 (2015.5.10) 05320-6



アメリカSF界のレジェンド、クリスマスSF作家エリソンはSF以外の小説も凄い！ 犯罪小説を中心に初期傑作を精選した、暴力とセックスと愛とジャズと狂気と孤独と快樂にあふれたエリソン・ワンダーランド！

Harlan Ellison / Love Ain't Nothing But Sex Misspelled

## 愛なんてセックスの書き間違い

ハーラン・エリソン 若島正編訳・渡辺智吾江訳



孤独な男と孤独な少年の出会いを痛切に描く「第四戒なし」、成功した作家が体験するサイケデリックな彷徨譚「バンキーとイェール大出の男たち」、閉ざされた空間に幽閉される恐怖を華麗な筆致で綴る「盲鳥よ、盲鳥よ、近寄ってくるな!」、〈ジルチ〉がある小説を書け!と命じられた新人作家の苦悩とは? 爆笑のポルノ小説「ジルチの女」、ギャング団潜入取材を元に書かれた「人殺しになった少年」、グルーヴィな筆致が炸裂するエリソン流ジャズ小説「クールに行こう」など、犯罪小説・ポルノ小説・ジャズ小説・ハードボイルドといった非SFジャンルの初期傑作を精選した日本オリジナル短篇集（全11篇、すべて本邦初訳）。 2640 円 (2019.5.24) 05323-7

最後の危険なアンソロジー、ついに登場！ 破滅SFの傑作として  
名高い表題作のほか、日本を代表する翻訳家：伊藤典夫が独自の  
審美眼で精選した全8篇。これにて〈未来の文学〉シリーズ完結。

Gardner.R. Dozois and Others / Chains of the Sea

## 海の鎖

ガードナー・R・ドゾワ他 伊藤典夫編訳



アンソロジー〈未来の文学〉第三弾は、長年「自ら見い  
だして気に入った作品のみ」を翻訳してきた伊藤典夫が  
膨大な短篇群から厳選した真の傑作集。異星人による  
侵略を少年の視点から緻密かつ鮮烈に描いた、知られ  
ざる傑作として名高いドゾワの表題作のほか、“世界第八  
の不思議”に出会った忘れがたき一夜をノスタルジック  
に語る名品、ファーマー「キング・コング墜ちてのち」、  
宇宙からもたらされた未知の文明をめぐる葛藤の物語、  
ジョンズ「神々の贈り物」、〈神の高速道〉の秘密に挑  
んだ者たちが見た目眩くヴィジョン！ 華麗な文体で彩ら  
れたハリスン「地を統べるもの」、宇宙船にひそむ謎の存  
在との対決がサスペンスフルに展開するナース「偽態」、  
心優しい異星人が「ショウほど素敵な商売はない」ことを  
発見する涙ぐましいコメディ、モレッシイ「最後のジェリー・  
フェイキン・ショウ」、2045年核時代の到来百年祭でアメ  
リカが計画したイベントとは……オルディスの問題作「リ  
トルボーイ再び」、核戦争を生きかたの人々を待ち受ける  
極寒の世界——ヒューザー賞受賞の名作、ポール「フェ  
ルミと冬」の全8篇。 2860円 (2021.6.25) 05325-1

〈未来の文学〉に寄せて

若島 正

50年代が俗にSFの黄金時代と呼ばれる古典期であるとす  
るなら、それに対して60年代から70年代はいわばSFのモダ  
ニズム期である。黄金時代にはほとんどハリウッド映画的な  
アメリカの産物であったSFが、英国のニュー・ウェーブを端  
緒にして、その波動に共振する形で、英米の両岸で新しい  
傾向の作品を生み出していった。その多くは、ちょうどモダ  
ニズム文学がそうだったように、当時には前衛的で難解な  
作品として敬遠されることもあった。

しかし、新世紀に入った今、そうした作品群を楽しめる  
時期がようやく到来したのではなからうか。〈未来の文学〉  
シリーズは、けっして過去のSFの発掘ではない。時代が、  
そしてわたしたち読者が、ここに集められた伝説的な作品群  
によりやく追いついたのである。新たな読者の視線を浴びる  
とき、幻の傑作たちはもはや幻ではなくなり、真の「未来  
の文学」として生まれ変わるだろう。

(〈未来の文学〉第1期パンフレットより)

〈国書刊行会のSF〉

『ピース』 ジーン・ウルフ／西崎憲・館野浩美訳 2640円 05788-4

〈ジャック・ヴァンス・トリヤリ〉

『宇宙探偵マグナス・リドルフ』 浅倉久志・酒井昭伸訳 2640円 05920-8

『天界の眼 切れ者キューゲルの冒険』 中村融訳 2640円 05921-5

『スペース・オペラ』 浅倉久志・白石朗訳 2640円 05922-2

『ライト』 M・ジョン・ハリスン／小野田和子訳 2750円 05026-7

『モーフィー時計の午前零時 チェス小説アンソロジー』 フリッツ・ライバー、  
ロジャー・ゼラズニ、ジーン・ウルフ他／若島正編 3080円 05097-7

『お日さま お月さま お星さま』 カート・ヴォネガット&アイヴァン・チャマイエフ/  
浅倉久志訳 2420円 05162-2

『HERE ヒア』 リチャード・マグワイア／久久保 訳 4400円 06073-0

『乱視読者のSF講義』 若島正 2640円 05441-8

『ぼくがカンガルーに出会ったころ』 浅倉久志 2640円 04776-2

『伊藤典夫評論集成』 伊藤典夫 \*近刊

『SFの気恥ずかしさ』 トマス・M・ディッシュ評論集』トマス・M・ディッシュ／浅倉  
久志・姫嶋由布子訳 \*近刊

## SFという名の建物

伊藤典夫

ここに建増しにつぐ建増しをかさねた建物がある。

神話や伝説、諷刺文学やゴシック小説、ユートピア思想などを育んできた広々とした豊かな土地に、堂々とした門構えの平家を建てたのがジュール・ヴェルヌと H・G・ウエルズ。お国柄も異なり、生まれた時代もすこしずれていたのに、二人の家ははじめのうち隣り合わせで建っていたが、やがて片方が亡くなり、片方が別の土地に移ってしまうと、引越してきた新しい住人が自由な増築をはじめた。

特に大胆な改変をおこなったのはアメリカ人で、採光がよく間取りもたっぷりしていた家の上いくつもの部屋を造り、二軒をつないでたくさんの小部屋に分割してしまった。各部屋はアメリカ人好みに機能的になったが、家ぜんたいが少々安っぽく見えはじめたことは否めない。おまけに塀まで作ってしまった人物がいる。この家にサイエンス・フィクションの名を与えたヒューゴー・ガーンズバックで、本人はたんに境界を定めただけのつもりだったようだが、サイエンスというものものしい表札と無造作にポーチに並ぶ宇宙船やエイリアンの置物によって、気軽に立ち入る人間をきびしく制限するようになった。

以上はすべて二十世紀前半までのことである。月日は流れてそれから数十年。現在この建物がどうなったかという、増築はどんどん進んで、いまや外観はステンレス・スチール造りの数階建てのビルである。外見はけっこうモダンだが、よくよくながめると、ところどころに城壁らしいものがあり、銃眼さえついている。古いものと新しいものが渾然と入り混じった印象は、中に入ってもそれほど変わらず、都会の雑居アパートを思わせる部屋部屋のドアを開ければ、最新の科学機器に混じって魔法使いの杖も見えるという具合だ。

今後この建物がどんな変貌を遂げていくのか、それはわからない。ひとつだけ言えるのは、この〈未来の文学〉第Ⅱ期の作品のなかにも明日の姿へとつながる萌芽がきっと見つかるということだけだ。

(〈未来の文学〉第Ⅱ期パンフレットより)

## 〈未来の文学〉第Ⅲ期に寄せて

### 円城 塔

さあ、三度未来がやってきます。

忘却の裡に沈む過去や、見通すことのできない未来は、過去のものとなりました。今や時間は縦には伸びず、平面状に展開します。全ての遺跡は浮上をはじめ、未来の遺構と同一化をはじめています。過去に書かれた未来の出来事、未来に書かれた過去の出来事。それらの区別はもうありません。

今や、あなたがどの時代に属するのかは、選択可能な値の一つとなりました。鋼鉄製の浜辺において、あなたが何を拾い上げるか、その選択があなたの属する時代を決めます。未来を読んで過去にいるのも、過去を読んで未来にいるのも、最早、自在な選択なのです。

浜辺に散らばる無数の書籍に立ち尽くすのも、手当たりしだいに手近の書籍を読み漁るのも、過去への囚われに他なりません。

常に未来へ属する言葉が仄かに光り、補助線をこうして示しています。

さあ、未来を三度、開始しましょう。

(〈未来の文学〉第Ⅲ期パンフレットより)



〈宇宙へのパスポート！ 失われたSFを求めて——  
60~70年代の傑作SFを厳選したSFファン待望の夢のコレクション〉  
海外SFシリーズ《未来の文学》(全3期)は  
第1回配本(2004年7月刊)の  
ジーン・ウルフ/柳下毅一郎訳『ケルベロス第五の首』に始まり、  
第19回配本(2021年6月刊)の  
伊藤典夫編訳アンソロジー『海の鎖』で完結いたしました。  
これまでのご愛読を心より感謝申し上げます。  
それでは、近い将来《新★未来の文学》  
あるいは《未来の文学館》シリーズでお会いしましょう。



体裁：四六判変型・上製カバー装  
装幀：下田法晴 + 大西裕二

全20冊 揃定価 50,700円(10%税込)

## 国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15

Tel.03-5970-7421 Fax.03-5970-7427

<https://www.kokusho.co.jp>